

発 言 通 告 書

令和2年12月1日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 小崎 愛子

次のとおり通告します。

発言順位	21	受領日時	12月1日 午前 10時 45分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 35 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	コロナ禍の下での保健所機能の強化と今後の保健所体制の強化について	(1) 現在の保健所への人員配置の補充の状況と、今後、保健所機能の強化のために必要な手立てについて (2) 保健所の保健師の人員要請について
2	医療機関の経営危機への財政支援について	(1) 市医師会と情報を共有し、状況に応じ、必要な支援の検討内容を問う。 (2) 市独自で、二次救急の病院には一定の財政支援を行うべきと考えるが、所見を問う。
3	上下水道事業の組織統合と新型コロナウイルス禍の下での水道事業について	(1) 上下水道事業の組織統合により何が変わるのかを問う。 (2) 組織統合を市民にどのように告知をするのか。 (3) 組織統合を機に、下水道も一緒に民間委託はすべきでないと考えるが、所見を問う。 (4) 新型コロナウイルスの影響により水道料金の猶予措置が取られたが、どれくらいの相談があったか。 (5) コロナ禍の下での水道事業のBCP計画について問う。
4	松山市学生奨学金制度について	(1) 「松山市特例奨学金」の制度の広報はどのように行ってきたか。 (2) 松山市特例奨学金の応募状況と貸付金額、その時の学生の実態はどうだったか。 (3) 松山市に就職すれば、返還不要の給付型の奨学金制度にする考えはないか。 (4) 学生支援としての「特例奨学金」の期間延長をし、給付型も取り入

